

大建設計・山田一級建築設計事務所 設計共同体

【個別講評】

- タイル、美濃瓦や県産木材の使用により、地産地消の推進が図られている点が評価されました。
- シンプルでコンパクトな施設の配置により、児童生徒や地域の方が利用しやすい一体的な施設である点が評価されました。一方で、十分な通気を確保できるかが懸念されました。
- 校舎の中心に「交流のもり」、「出会いのもり」、「知識のもり」を設けることで、地域の方や異学年交流を生む空間が設計されている点が評価されました。
- プールを管理棟南側に配置しており、職員室からの監視が容易な点が評価されました。
- 校舎と屋内運動場を一体の建物として整備することで、災害時の避難場所として利用しやすい施設計画である点が評価されました。一方で、改修時の対応が懸念されました。
- 学年区分ごとに十分な広さを確保した多目的室やワークスペースが設けられており、多様な活動が可能である点が評価されました。
- 校舎棟の横ルーバー、体育館棟の外壁の材質について懸念されました。

【総評】

令和4年1月17日に実施した（仮称）笠原義務教育学校建設工事建築基本設計者選定審査（以下「本件選定審査」という。）においては、（仮称）笠原義務教育学校建築設計者選定委員会によって各設計共同体の提出した設計提案書等について、選定審査実施要領第6選定審査及び審査基準（5）選定審査基準に基づいて、厳正なる審査を行いました。

本件選定審査の結果、大建設計・山田一級建築設計事務所設計共同体を基本設計業務委託の契約相手方候補者として選定しました。

また、次点として、アール・アイ・エー・エース設計共同体を選定しました。

大建設計・山田一級建築設計事務所設計共同体は、その提案書において、多治見市立（仮称）笠原義務教育学校整備基本構想に定める整備目標、建設コンセプト、整備方針をよく理解した設計案を示し、かつ、十分な業務実績に裏付けされた適切な実施方針を示したことが高く評価されました。

その他の設計共同体が提出された案についても、その技術力等を十分に発揮され、非常に水準の高いものと評価しました。

ここに、本件選定審査に参加され、貴重なお時間とご努力を費やされたことに感謝申し上げます。

今後、選定された設計提案書をもとに、すばらしい（仮称）笠原義務教育学校が建設されることを祈念いたします。

令和4年1月24日

（仮称）笠原義務教育学校建築設計者選定委員会